2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月12日

上場会社名　　ラクサス・テクノロジーズ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　288A　　ＵＲＬ　https://corp.laxus.co/
代表者　　（役職名）代表取締役社長執行役員　　（氏名）高橋　啓介
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員　　（氏名）中尾　聡志　　ＴＥＬ　（082）236-3801

半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	1,023	△6.4	104	104.5	90	58.2	64	38.0
2026年３月期中間期	1,093	△14.9	51	△84.9	57	△83.0	46	△83.6

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	2.47	2.47
2026年３月期中間期	1.81	1.79

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	4,292	3,162	73.7
2026年３月期	4,364	3,085	70.7

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　3,162百万円　2026年３月期　3,085百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,546	11.6	295	59.5	255	34.3	152	55.1	5.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	25,962,883株	2026年３月期	25,836,783株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	ー株	2026年３月期	ー株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	25,921,658株	2026年３月期中間期	25,696,813株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

2026年11月13日（金）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料等は、当社のウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 5
（３）中間財務諸表に関する注記事項 …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間において、当社はコアビジネスであるブランドバッグのサブスクリプション型シェアリングサービス「ラクサス」において、獲得戦略を従来の“量”から“質”へと転換し、高収益な事業構造へのシフトを引き続き推進いたしました。

マーケティング面におきましては、広告宣伝費を前年同期比39.0％減（244,981千円から149,483千円）に抑制しつつ、ショート動画の拡散力を活かした認知拡大とアプリ内の特集コンテンツの拡充によりCVR（有料会員登録率）を改善し、CPA（顧客獲得単価）は前年同期比で33％改善（入会特典の値引きを含めた獲得コストでも約30％改善）いたしました。一方で、当中間期の新規獲得は入会特典に依存する比率が高く、分析の結果、一律の大きな入会特典により獲得した会員は早期解約が多く、LTV（入会後の累計課金額）が特典なしで入会した会員を下回ることが判明いたしました。獲得効率は改善したものの、獲得した会員が定着しなければ契約数は積み上がらないことから、第２四半期末より一律の大型特典を停止してその原資を広告へ再配分するとともに、獲得の評価軸を獲得コスト（CPA）から定着（LTV）へ移し、バッグ・ブランドごとに特典・価格を設定できる仕組みを構築して、新規入会者を対象に運用を開始しております。

また、継続率の向上に向けて、解約率が高いサービス開始後２～３ヶ月目の初期ユーザーを対象とした施策を実施したほか、顧客体験価値と単価の向上を目的として、追加料金による高額バッグのレンタル機能「ロイヤルクローゼット」を開始し、2026年８月には「ラクサス」会員向けにサングラスのレンタルサービス（β版）を開始いたしました。

以上の取り組みの結果、重要なKPIである契約数（ダブルプラン等を含む）は16,613件（前年中間期末比276件減）となりました。また、顧客別単価（ARPU）につきましては、主に第１四半期において、前期末から好調であった新規契約の増加により単価が低い３か月以内ユーザーが増えたことが要因で、当中間期平均単価は8,743円（前年同期は9,030円、前年同期比287円減少）となっております。

バッグ販売におきましては、収益性の向上を目指して相対的に利益率の低いBtoB販売を抑制した一方、利益率の高い試用販売サービス「買えちゃうラクサス」が堅調に推移したほか、「ラクサス表参道店」での対面販売や、６月の在庫連携開始・８月末からの本格展開により外部ECモールでの販売が伸長いたしました。この結果、高付加価値な販売チャネルへのシフトが進み、当中間期のバッグ販売売上高（「買えちゃうラクサス」によるリース収益（その他の収益）を含む）は前年同期比88％となりました。また、バッグの公開から予約までの日数を用いて在庫の過不足を週次で判定する仕組みを10月より運用開始し、不足バッグの優先仕入れと過剰在庫の販売による資産回転の向上に取り組んでおります。

さらに当社は、保有する国内最大級のバッグ資産を活かし、事業基盤の拡張と収益機会の最大化に向けたモデルの深化に取り組んでおります。自社サービスである「シェアリング」を主軸としつつ、当社のシェアリング機能を外部へ提供する「ShaaS（Sharing as a Service）」、新たな顧客体験を提供するスマートキープ型の新サービス「ラクモチ（Lax-mochi）」の育成、そして「EC連携」などを横断的に推進しております。このうちShaaSの新たな取り組みとして、2026年７月末より「ANA Luxury Bag」を開始しており、今後はマイル会員向けのプロモーションを強化することで利用拡大を図ってまいります。また、外部ECプラットフォーム等との在庫連携を通じたキャッシュ回収サイクルの短期化も着実に進展しております。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高は1,023,430千円（前年同期比6.4％減）となりました。売上原価はレンタル資産の増加に伴う償却費の増加により微増し、差引売上総利益は721,278千円（同9.7％減）となりましたが、広告宣伝費を中心に販売費及び一般管理費が130,781千円減少したことにより、営業利益は104,725千円（同104.5％増）、経常利益は90,951千円（同58.2％増）、中間純利益は64,138千円（同38.0％増）となりました。

なお、当社は、ラクサス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は1,285,970千円となり、前事業年度末に比べ320,931千円減少いたしました。これは主にバッグ（レンタル資産）の仕入れに伴う支払等により現金及び預金が271,480千円減少したことなどによります。また前事業年度に計上していた未収還付法人税等及び未収消費税等の還付が完了したことによりその他流動資産が54,885千円減少したことなどによります。固定資産は3,006,253千円となり、前事業年度末に比べ249,011千円増加いたしました。これは主にバッグの仕入れによりレンタル資産が263,734千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,292,224千円となり、前事業年度末に比べ71,919千円減少いたしました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債は585,626千円となり、前事業年度末に比べ26,712千円減少いたしました。これは主に前事業年度末に計上していた未払金を支払ったことにより未払金が27,157千円減少したことによるものであります。また金融機関への１年内返済予定の長期借入金の返済を行ったことにより１年内返済予定の長期借入金が16,662千円減少したことなどによります。固定負債は544,001千円となり、前事業年度末に比べ121,829千円減少いたしました。これは主に長期借入金が120,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,129,627千円となり、前事業年度末に比べ148,542千円減少いたしました。

（純資産）

当中間会計期間末の純資産は3,162,596千円となり、前事業年度末と比べ76,622千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が64,138千円増加したこと、またストック・オプションの行使により資本金及び資本剰余金が合計12,483千円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は73.7％（前事業年度末は70.7％）となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月14日公表の「2026年３月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を行うことはお控えくださるようお願いいたします。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年３月31日）	当中間会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,180,518	909,038
売掛金	152,453	126,607
リース債権	146,061	170,605
商品	66,338	73,048
その他	87,464	32,579
貸倒引当金	△25,935	△25,909
流動資産合計	1,606,901	1,285,970
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	2,601,267	2,865,002
その他（純額）	63,792	51,880
有形固定資産合計	2,665,060	2,916,882
投資その他の資産	92,181	89,371
固定資産合計	2,757,241	3,006,253
資産合計	4,364,143	4,292,224
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
１年内返済予定の長期借入金	262,244	245,582
未払金	112,676	85,519
未払法人税等	6,420	27,018
賞与引当金	1,598	2,808
役員賞与引当金	－	1,902
ポイント引当金	18,427	17,651
その他	110,971	105,143
流動負債合計	612,338	585,626
固定負債		
長期借入金	660,000	540,000
退職給付引当金	5,830	4,001
固定負債合計	665,830	544,001
負債合計	1,278,169	1,129,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,676,756	1,682,998
資本剰余金	1,661,193	1,667,434
利益剰余金	△251,975	△187,836
株主資本合計	3,085,974	3,162,596
純資産合計	3,085,974	3,162,596
負債純資産合計	4,364,143	4,292,224

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,093,129	1,023,430
売上原価	293,751	297,986
売上総利益	799,378	725,444
売上利益調整		
繰延リース利益戻入額	1,282	2,983
繰延リース利益繰入額	2,108	7,148
売上利益調整額	△825	△4,165
差引売上総利益	798,552	721,278
販売費及び一般管理費	747,334	616,553
営業利益	51,217	104,725
営業外収益		
受取保険金	23,838	－
受取補償金	11,735	8,119
その他	8,784	8,329
営業外収益合計	44,357	16,449
営業外費用		
支払利息	12,822	12,172
固定資産除却損	19,814	15,884
その他	5,445	2,166
営業外費用合計	38,082	30,223
経常利益	57,492	90,951
特別損失		
減損損失	5,439	7,453
特別損失合計	5,439	7,453
税引前中間純利益	52,052	83,497
法人税、住民税及び事業税	7,994	15,447
法人税等調整額	△2,414	3,911
法人税等合計	5,580	19,358
中間純利益	46,472	64,138

（３）中間財務諸表に関する注記事項

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。